

日本航空株式会社
2016年3月期第3四半期
決算説明会



2016年1月29日
取締役専務執行役員 齊藤典和

 **2016年3月期第3四半期 業績概要**

P.1

 **2016年3月期配当金予想**

P.2

 **中期経営計画の進捗等**

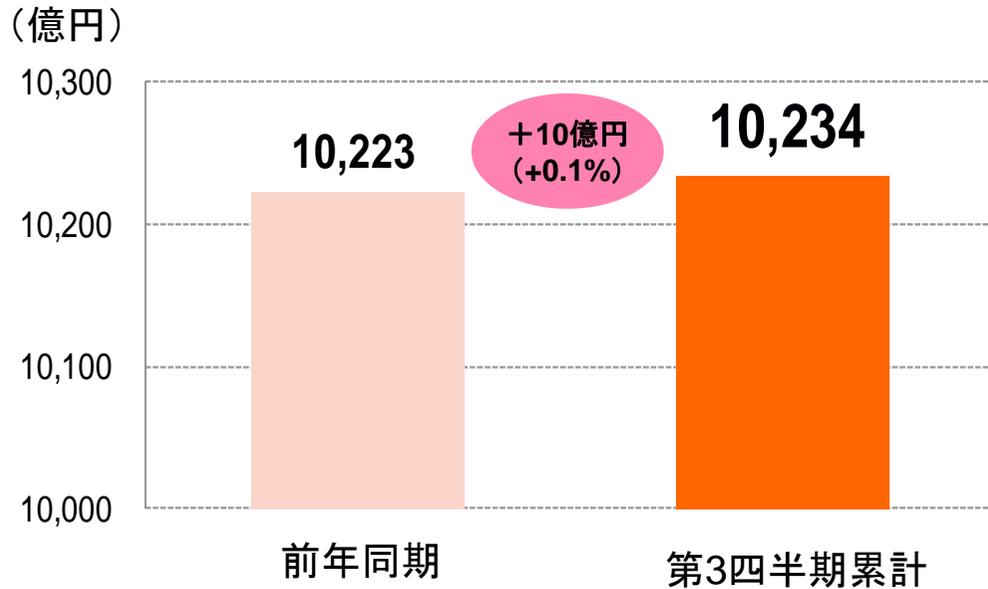
P.3

 **2016年3月期第3四半期 業績詳細**

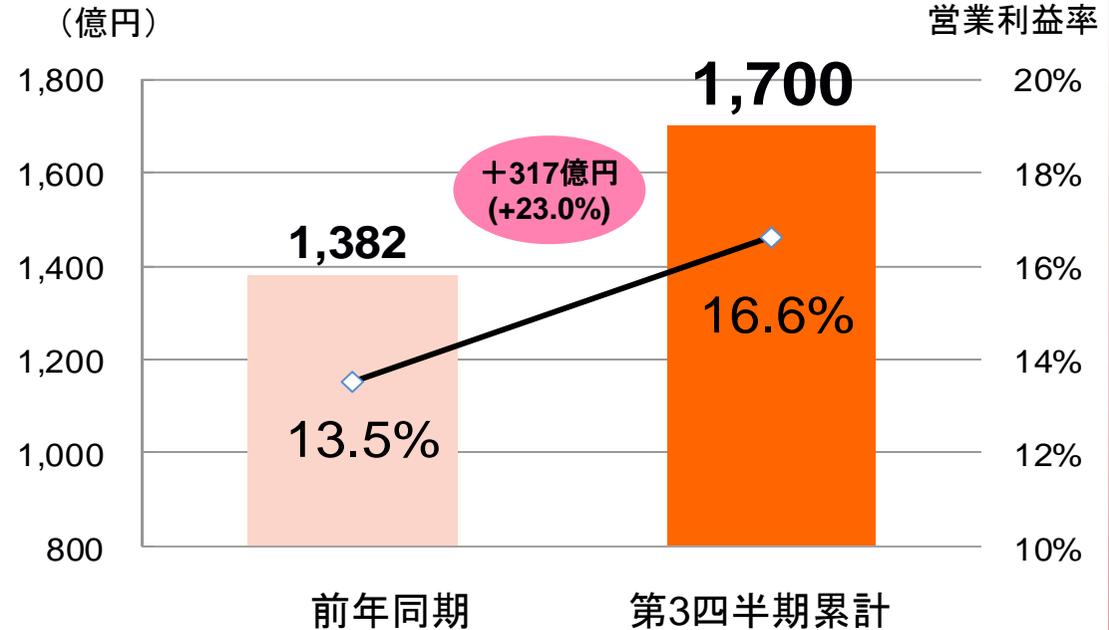
P.4~

 **参考資料**

営業収益



営業利益



燃油・為替市況実績

	前年同期	第3四半期 累計	前年同期比
為替 (円/USD)	105.0	121.6	+15.8%
シンガポールケロシン (USD/bbl)	114.1	65.9	▲42.3%
ドバイ原油 (USD/bbl)	98.9	52.8	▲46.6%

- ✓ 国内線の増収および燃油市況の下落等により増収増益となり、営業利益は1,700億円
- ✓ 営業利益率は16.6%となり、目標とする営業利益率水準(10%以上)を上回り、引き続き順調に推移

配当金予想

	2015年3月期 実績	2016年3月期 見通し
		今回公表値
当期純利益 ^()	1,490億円	1,720億円
法人税等調整額	13億円	—
	1,503億円	1,720億円
配当金総額	377億円	431億円
発行済株式総数	362,704千株	362,704千株
1株当たり配当金額	104.00円	119.00円

2016年3月期の1株当たり配当金

2016年3月期
119円00銭
(予想)

15円増配
(+14.4%)

2015年3月期
104円00銭

配当金計算

親会社株主に帰属する
当期純利益から
法人税等調整額の
影響を除いた額の
25%程度

() 親会社株主に帰属する当期純利益

通期業績予想については、2015年10月30日公表時点から変更ございません

商品・サービスの強化

～2015年の定時到着率で世界第1位に～

2016年01月07日発表

- ✓ 主要航空会社部門： 第1位
- ✓ アジア・パシフィック主要航空会社部門： 第1位
- ✓ アライアンス部門： 第1位(ワンワールド)



～国際線における再利用意向で3年連続第1位、顧客満足度でも初の第1位を獲得(2015年度JCSI(*)調査)～

2015年11月04日発表

(*)日本版顧客満足度指数

	国際線	国内線
ロイヤルティ(再利用意向)	1位(1位)	5位(3位)
他者推奨意向	2位(1位)	3位(3位)

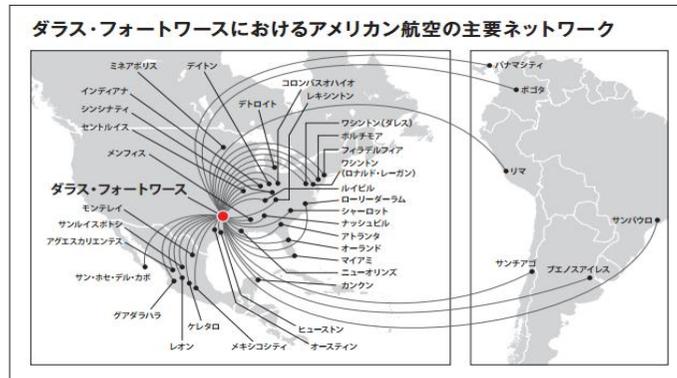
()内は昨年度



路線・ネットワークの拡充 等

～引き続き、ネットワークを拡充～

- ✓ 2015年11月30日～
 - ・成田＝ダラス・フォートワース線開設 (787-8型機)
 - ✓ 2015年10月25日～
 - ・羽田＝上海(浦東)線開設
 - ・羽田＝広州線開設
 - ・羽田＝北京線増便
- (767-300ER型機)



～昨年に引き続き、「健康経営銘柄2016」に選定～

2016年1月21日発表



(乗務前のストレッチ風景)



2016年3月期 第3四半期 連結経営成績

(単位:億円)	前年同期	第3四半期 累計	前年 同期比	第3四半期 ⁽⁵⁾	前年 同期比
営業収益	10,223	10,234	+0.1%	3,354	▲0.9%
航空運送連結	9,099	9,232	+1.5%	3,029	+0.8%
営業費用	8,841	8,533	▲3.5%	2,854	▲2.7%
航空運送連結	7,860	7,676	▲2.3%	2,568	▲1.0%
営業利益	1,382	1,700	+23.0%	500	+10.2%
航空運送連結	1,238	1,555	+25.6%	461	+11.8%
営業利益率 (%)	13.5%	16.6%	+3.1pt	14.9%	+1.5pt
経常利益	1,374	1,704	+24.0%	478	+4.5%
四半期純利益 ⁽¹⁾	1,196	1,436	+20.1%	402	+2.4%
ASK(百万席キ口)	63,404	63,514	+0.2%	21,007	+0.4%
RPK(百万人キ口)	45,345	47,220	+4.1%	15,704	+4.5%
EBITDAマージン (%) ⁽²⁾	19.9%	23.0%	+3.2pt	21.6%	+1.7pt
EBITDARマージン (%) ⁽³⁾	21.8%	24.8%	+3.0pt	23.3%	+1.5pt
ユニットコスト(円) ⁽⁴⁾	8.8	9.2	+0.5	9.5	+0.5
燃油費含む	12.4	12.1	▲0.3	12.2	▲0.2

- ✓ 営業収益は前年比+0.1%の10,234億円
- ✓ 営業利益は前年比+23.0%の1,700億円
- ✓ 営業利益率は16.6%
- ✓ 経常利益は前年比+24.0%の1,704億円
- ✓ 四半期純利益は前年比+20.1%の1,436億円

- 注: 1. 親会社株主に帰属する四半期純利益
 2. EBITDAマージン=EBITDA/営業収益 EBITDA=営業利益+減価償却費
 3. EBITDARマージン=EBITDAR/営業収益 EBITDAR=営業利益+減価償却費+航空機材賃借料
 4. ユニットコスト=航空運送連結費用(燃油費、収入費用両建ての関連会社向け取引を除く) / ASK
 5. 第3四半期(10-12月)の実績は第3四半期累計実績(4-12月)から第2四半期累計実績(4-9月)の実績を差し引いて算出

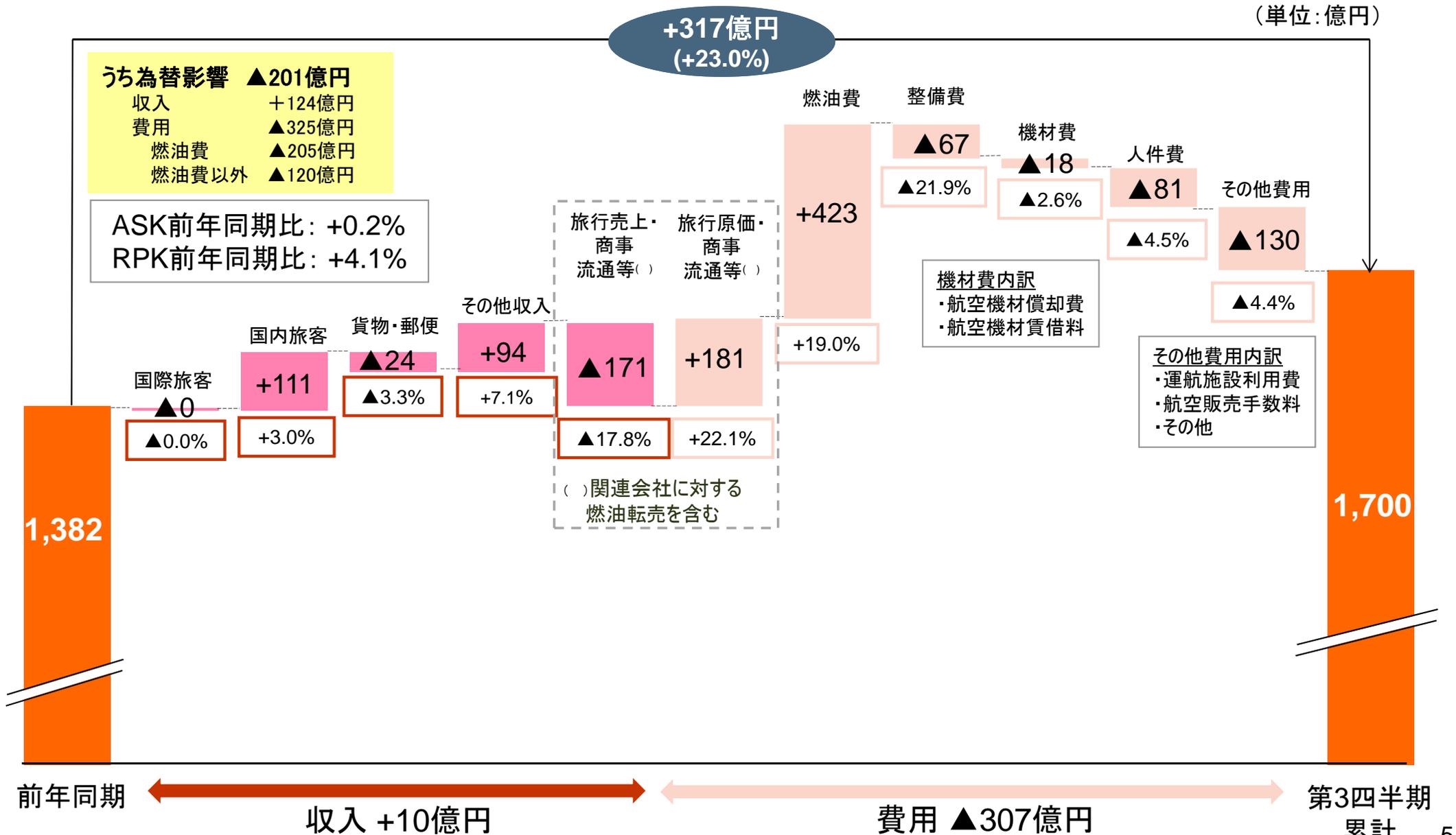
営業利益増減の推移



JAPAN AIRLINES

2016年3月期 第3四半期

(単位: 億円)



国際旅客事業(輸送実績)



JAPAN AIRLINES

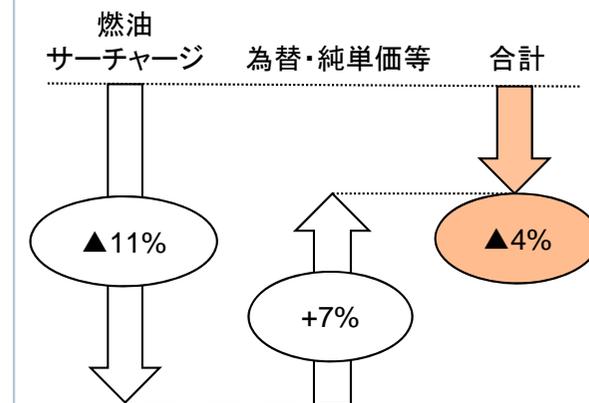
国際旅客事業の状況

	前年同期	第3四半期 累計	前年同期比	第3四半期 (1)	前年同期比
旅客収入 (億円)	3,459	3,459	▲0.0%	1,103	▲1.5%
ASK (百万席キ口)	35,946	36,347	+1.1%	12,108	+1.3%
RPK (百万人キ口)	27,102	28,750	+6.1%	9,441	+5.9%
有償旅客数 (千人)	5,808	6,066	+4.5%	1,973	+3.2%
座席利用率 (%)	75.4%	79.1%	+3.7pt	78.0%	+3.4pt
イールド ⁽²⁾ (円)	12.8	12.0	▲5.7%	11.7	▲7.0%
ユニットレベニュー ⁽³⁾ (円)	9.6	9.5	▲1.1%	9.1	▲2.8%
単価 ⁽⁴⁾ (円)	59,568	57,030	▲4.3%	55,901	▲4.6%

✓ 旅客収入は3,459億円となり前年並み

✓ ASKは前年比+1.1%、RPKは前年比+6.1%となった結果、座席利用率は+3.7ptの79.1%

単価変動要因(概算)



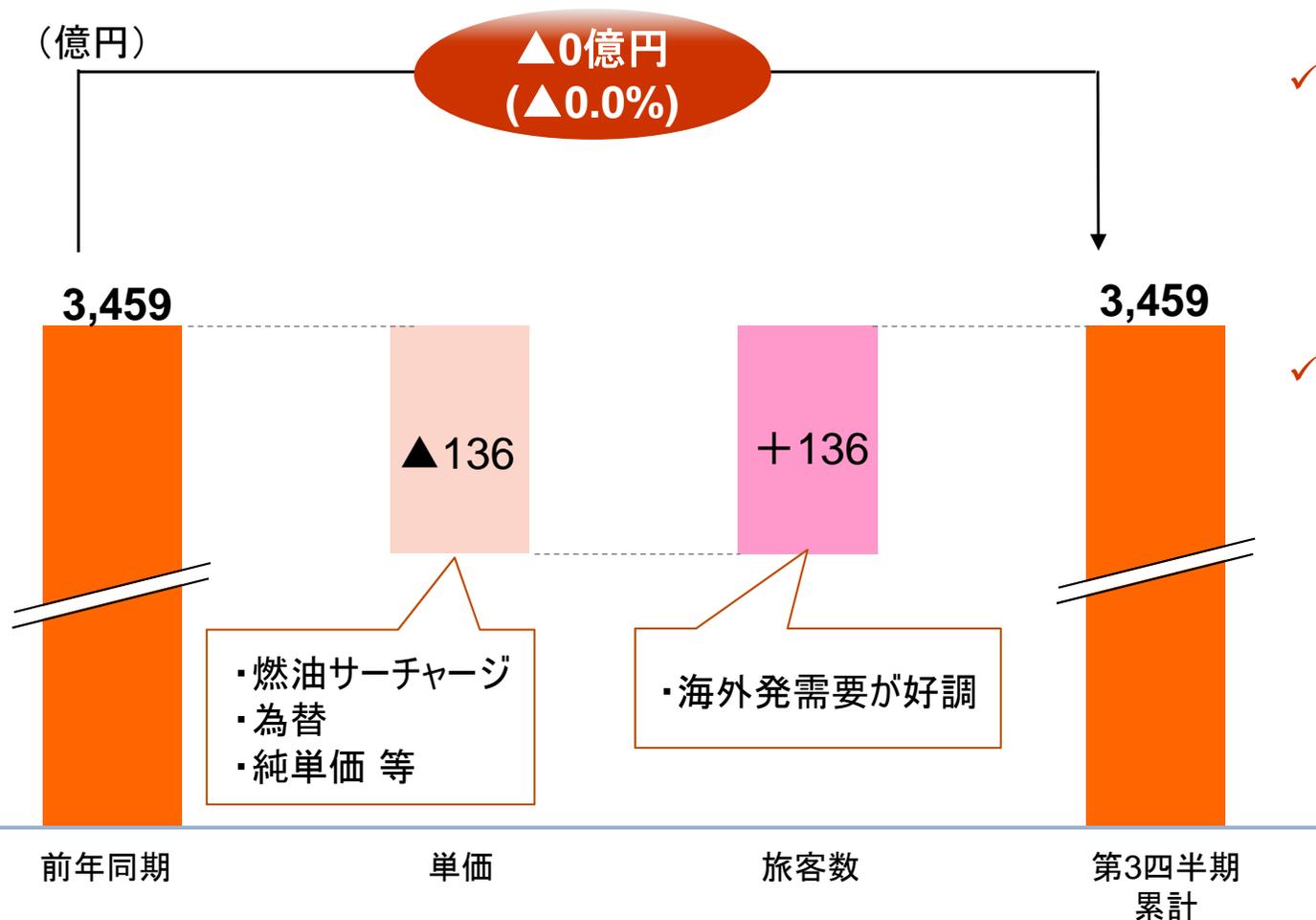
- 注: 1. 第3四半期(10-12月)の実績は第3四半期累計実績(4-12月)から第2四半期累計実績(4-9月)の実績を差し引いて算出
 2. イールド=旅客収入/RPK
 3. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
 4. 単価=旅客収入/有償旅客数

国際旅客事業(旅客収入の推移)



JAPAN AIRLINES

2016年3月期 第3四半期



- ✓ 燃油サーチャージ減により単価が下落したものの、レベニューマネジメントやJAL SKY SUITE導入拡大により、座席利用率・純単価が向上
- ✓ 東南アジア線を中心に、海外発需要が大きく伸張

国内旅客事業の状況

	前年同期	第3四半期累計	前年同期比	第3四半期 ⁽¹⁾	前年同期比
旅客収入(億円)	3,730	3,841	+3.0%	1,273	+2.0%
ASK(百万席キ口)	27,458	27,166	▲1.1%	8,899	▲0.8%
RPK(百万人キ口)	18,242	18,469	+1.2%	6,263	+2.6%
有償旅客数(千人)	24,056	24,377	+1.3%	8,294	+2.4%
座席利用率(%)	66.4%	68.0%	+1.5pt	70.4%	+2.3pt
イールド ⁽²⁾ (円)	20.4	20.8	+1.7%	20.3	▲0.6%
ユニットレベニュー ⁽³⁾ (円)	13.6	14.1	+4.1%	14.3	+2.8%
単価 ⁽⁴⁾ (円)	15,507	15,759	+1.6%	15,356	▲0.3%

- ✓ 旅客収入は前年比+3.0%の3,841億円
- ✓ ASKが前年比▲1.1%に対し、RPKは+1.2%。座席利用率は1.5pt上昇し68.0%
- ✓ イールドは前年比+1.7%、単価は前年比+1.6%

注: 1. 第3四半期(10-12月)の実績は第3四半期累計実績(4-12月)から第2四半期累計実績(4-9月)の実績を差し引いて算出
 2. イールド=旅客収入/RPK
 3. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
 4. 単価=旅客収入/有償旅客数

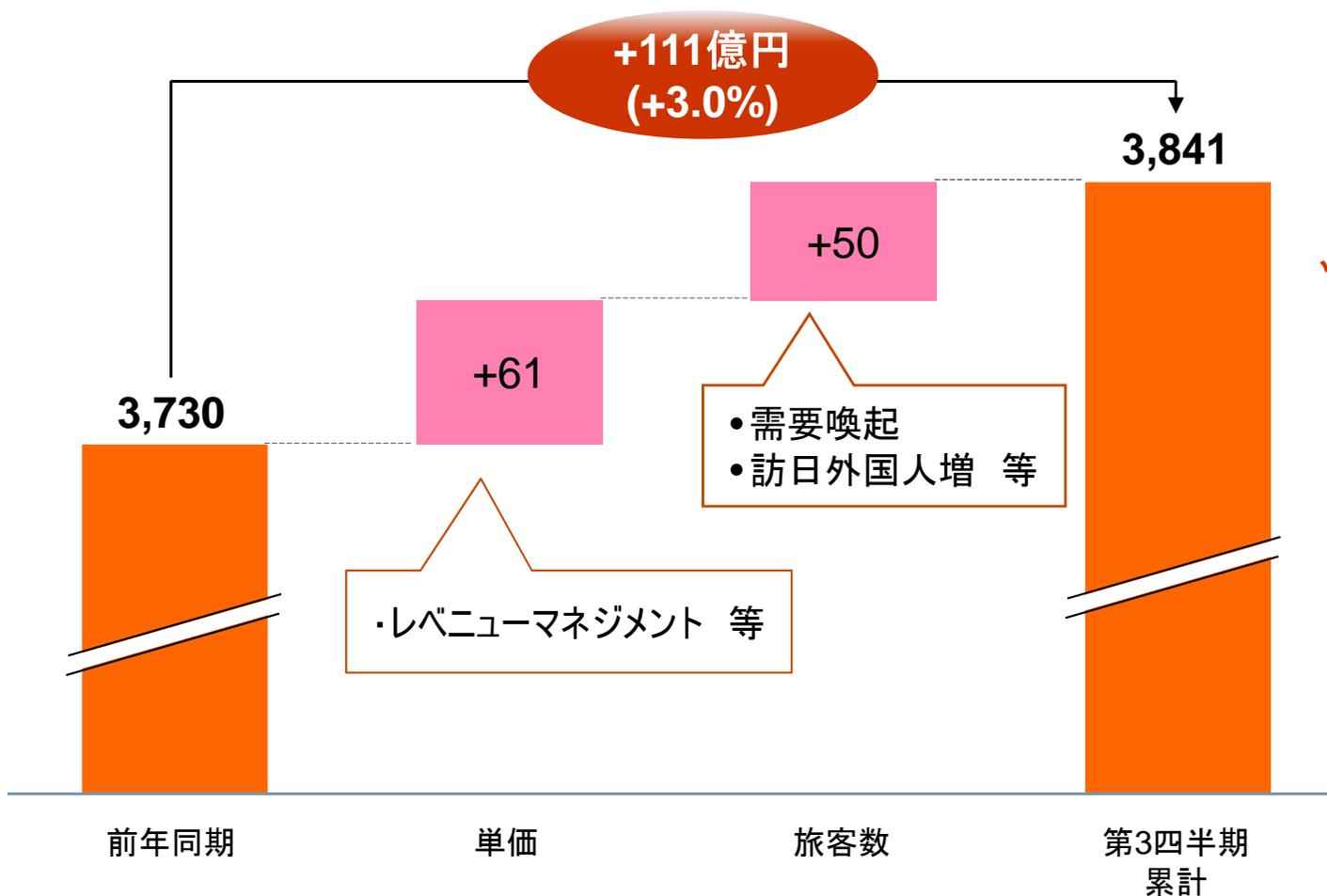
国内旅客事業(旅客収入の推移)



JAPAN AIRLINES

2016年3月期 第3四半期

(億円)



- ✓ レベニューマネジメントによる需要構成の変化
 - ・JAL SKY NEXTが好評
 - ・個人旅客の増加
- ✓ 需要喚起策の実施などによる旅客増
 - ・「ウルトラ先得」の新設(2015年4月～)
 - ・訪日外国人旅行者の増加

主要営業費用項目



JAPAN AIRLINES

営業費用内訳

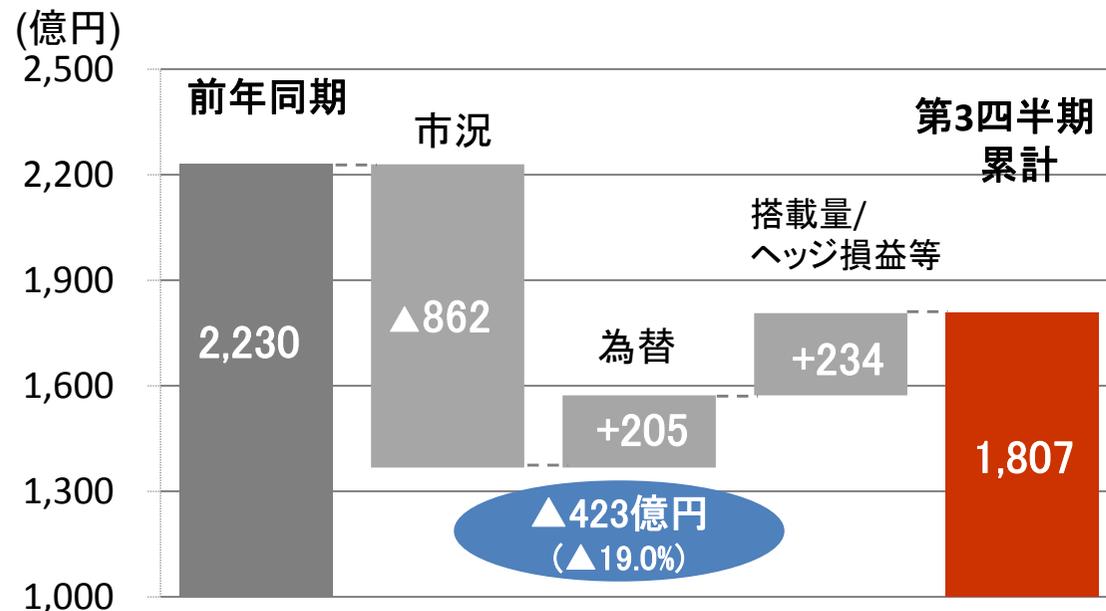
(単位:億円)	前年同期	第3四半期 累計	前年差	前年 同期比	第3四半期 ⁽¹⁾	前年差	前年 同期比
燃油費	2,230	1,807	▲423	▲19.0%	581	▲134	▲18.8%
運航施設利用費	613	622	+8	+1.5%	206	+2	+1.0%
整備費	308	375	+67	+21.9%	123	+30	+32.8%
航空販売手数料	180	185	+4	+2.6%	60	+0	+0.1%
航空機材償却費	502	537	+34	+6.9%	182	+11	+6.8%
航空機材賃借料	195	179	▲16	▲8.4%	56	▲7	▲11.0%
人件費	1,789	1,870	+81	+4.5%	642	+26	+4.4%
旅行原価・商事 流通等 ⁽²⁾	822	641	▲181	▲22.1%	205	▲48	▲19.1%
その他	2,197	2,315	+117	+5.3%	794	+41	+5.5%
営業費用計	8,841	8,533	▲307	▲3.5%	2,854	▲77	▲2.7%

- ✓ 円安およびサービス強化のため
の一部コスト増はあるものの、
経費削減努力を継続中
- ✓ 燃油費は市況下落等により
423億円減少(うち、円安
影響で205億円増加)
- ✓ 整備費は主に円安影響で
増加
- ✓ 人件費はベースアップ、
賞与増および為替影響等
により、前年比81億円増加

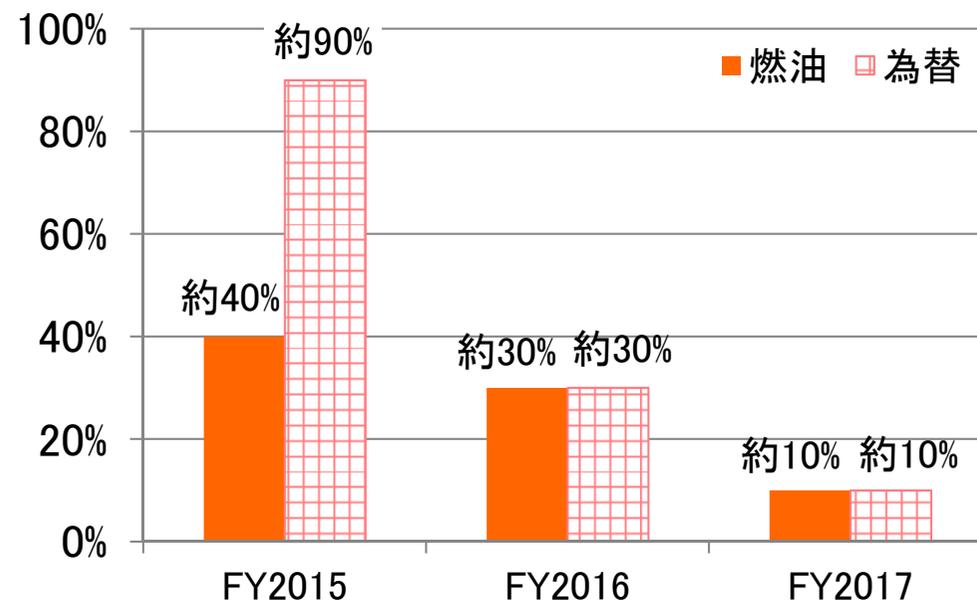
ASK前年比:+0.2%

注: 1. 第3四半期(10-12月)の実績は第3四半期累計実績(4-12月)から第2四半期累計実績(4-9月)の実績を差し引いて算出
2. 関連会社に対する燃油転売を含む

燃油費増減の推移



燃油費に対する年度別ヘッジ概況 (2015年12月末時点)



燃油・為替前提

	前年同期	第3四半期累計	前年同期比
為替 (円/USD)	105.0	121.6	+15.8%
シンガポールケロシン (USD/bbl)	114.1	65.9	▲42.3%
ドバイ原油(USD/bbl)	98.9	52.8	▲46.6%

燃油費への感応度(ヘッジなし)

燃油費への影響(年間)

原油 (1USD/bblの変動)	約26億円
為替 (1円/USDの変動)	約17億円

2016年3月期第3四半期末 連結財務状況

(単位:億円)	前年度末 2015/3/31	第3四半期末 2015/12/31	前年度末差
総資産	14,733	15,457	+724
現金及び預金	3,649	3,655	+5
有利子負債残高 ⁽¹⁾	1,005	798	▲207
オフバランス 未経過リース料	1,250	1,050	▲200
自己資本	7,764	8,685	+921
自己資本比率 (%)	52.7%	56.2%	+3.5pt
D/Eレシオ(倍) ⁽²⁾	0.1x	0.1x	▲0.0x

✓ 有利子負債残高は返済等により207億円減少し798億円

✓ 自己資本比率は56.2%

注: 1. 割賦未払金を含む
2. D/Eレシオ=(オンバランス有利子負債)/(自己資本)

(参考) ※第3四半期末
オフバランス未経過リース料込みのD/Eレシオ:0.2x

キャッシュフローの状況(実績)



JAPAN AIRLINES

(単位:億円)	前年同期	第3四半期 累計	前年同期差
税金等調整前四半期純利益	1,368	1,723	+354
減価償却費	647	658	+10
その他	▲171	▲141	+30
営業キャッシュフロー合計	1,844	2,239	+395
設備投資額 ⁽¹⁾	▲1,644	▲1,606	+38
その他	▲8	1	+9
投資キャッシュフロー合計⁽²⁾	▲1,653	▲1,604	+48
フリーキャッシュフロー⁽³⁾	191	635	+443
有利子負債返済 ⁽⁴⁾	▲311	▲255	+56
配当金・その他	▲313	▲368	▲55
財務キャッシュフロー	▲624	▲623	+0
キャッシュフロー合計⁽⁵⁾	▲433	11	+444
EBITDA	2,030	2,358	+328
EBITDAR	2,225	2,537	+311

- 注: 1.固定資産の取得による支出
 2.定期預金の入出金を除く
 3.営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー
 4.長期借入金の返済+リース債務の返済
 5.営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー



JAPAN AIRLINES

明日の空へ、日本の翼



JAPAN AIRLINES

当資料に関するお問い合わせ先

日本航空株式会社

財務・経理本部 財務部

《参考》国際線収入大路別実績



JAPAN AIRLINES

旅客収入 (対国際線全体比率)

(単位:%)	前年同期	第3四半期 累計	前年同期差	第3四半期	前年同期差
太平洋線	36.5%	37.5%	+1.0pt	38.0%	+2.0pt
欧州線	17.0%	15.5%	▲1.5pt	13.5%	▲1.5pt
アジア・オセアニア線	35.0%	35.5%	+0.5pt	38.0%	+0.0pt
中国線	11.5%	11.5%	▲0.0pt	10.5%	▲0.5pt

ASK

(単位:百万席キ口)	前年同期	第3四半期 累計	前年同期比	第3四半期	前年同期比
太平洋線	13,684	14,674	+7.2%	4,900	+6.2%
欧州線	5,955	5,789	▲2.8%	1,853	▲2.7%
アジア・オセアニア線	13,611	13,351	▲1.9%	4,462	▲2.4%
中国線	2,695	2,532	▲6.0%	892	+3.4%

RPK

(単位:百万人キ口)	前年同期	第3四半期 累計	前年同期比	第3四半期	前年同期比
太平洋線	11,032	11,873	+7.6%	3,920	+9.2%
欧州線	4,536	4,375	▲3.6%	1,360	▲3.0%
アジア・オセアニア線	9,795	10,697	+9.2%	3,647	+7.9%
中国線	1,738	1,804	+3.8%	512	▲5.4%

有償旅客数

(単位:千人)	前年同期	第3四半期 累計	前年同期比	第3四半期	前年同期比
太平洋線	1,412	1,520	+7.6%	504	+9.2%
欧州線	495	482	▲2.5%	150	▲1.6%
アジア・オセアニア線	2,968	3,101	+4.5%	1,045	+3.7%
中国線	931	961	+3.3%	273	▲5.6%

Load Factor

(単位:%)	前年同期	第3四半期 累計	前年同期差	第3四半期	前年同期差
太平洋線	80.6%	80.9%	+0.3pt	80.0%	+2.2pt
欧州線	76.2%	75.6%	▲0.6pt	73.4%	▲0.2pt
アジア・オセアニア線	72.0%	80.1%	+8.2pt	81.7%	+7.8pt
中国線	64.5%	71.3%	+6.8pt	57.5%	▲5.3pt

《参考》航空機一覽



JAPAN AIRLINES

		前年度末 2015/3/31			第3四半期末 2015/12/31			増減
		所有	リース	合計	所有	リース	合計	
大型機	Boeing 777-200	13	0	13	12	0	12	▲1
	Boeing 777-200ER	11	0	11	11	0	11	-
	Boeing 777-300	7	0	7	5	0	5	▲2
	Boeing 777-300ER	13	0	13	13	0	13	-
	大型機 小計	44	0	44	41	0	41	▲3
中型機	Boeing 787-8	20	0	20	22	0	22	+2
	Boeing 787-9	0	0	0	2	0	2	+2
	Boeing 767-300	13	0	13	10	0	10	▲3
	Boeing 767-300ER	24	8	32	27	5	32	-
	中型機 小計	57	8	65	61	5	66	+1
小型機	Boeing 737-400	12	0	12	12	0	12	-
	Boeing 737-800	21	29	50	21	29	50	-
	小型機 小計	33	29	62	33	29	62	-
リージョナル機	Embraer 170	15	0	15	17	0	17	+2
	Bombardier CRJ200	9	0	9	9	0	9	-
	Bombardier D8-400	9	2	11	9	2	11	-
	SAAB340B	13	0	13	13	0	13	-
	Bombardier D8-300	1	0	1	1	0	1	-
	Bombardier D8-100	4	0	4	4	0	4	-
	リージョナル機 小計	51	2	53	53	2	55	+2
合計	185	39	224	188	36	224	-	

《参考》2016年3月期業績予想(連結業績)



JAPAN AIRLINES

2015年10月30日公表の業績予想

(単位:億円)	前年度実績	2016年3月期予想
営業収益	13,447	13,470
営業費用	11,650	11,430
営業利益	1,796	2,040
営業利益率(%)	13.4%	15.1%
経常利益	1,752	2,020
当期純利益 ⁽¹⁾	1,490	1,720
ユニットコスト(円) ⁽²⁾	8.9	9.2

	2016年3月期予想
ASK* 国際線	+1.5%
国内線	▲1.1%
ASK合計	+0.4%
RPK* 国際線	+6.7%
国内線	+0.3%
*前年度実績を100として	
為替(円/USD)	123.4
シンガポールケロシン (USD/bbl)	70.3
ドバイ原油 (USD/bbl)	56.1

注:(1)親会社株主に帰属する当期純利益

(2)ユニットコスト=航空運送連結費用(燃油費、収入費用両建ての関連会社向け取引を除く)/ASK

本資料には、日本航空株式会社(以下「当社」といいます)及びそのグループ会社(以下当社と併せて「当社グループ」といいます)に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点(又はそこに別途明記された時点)において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点(又はそこに別途明記された時点)のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有していません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。